

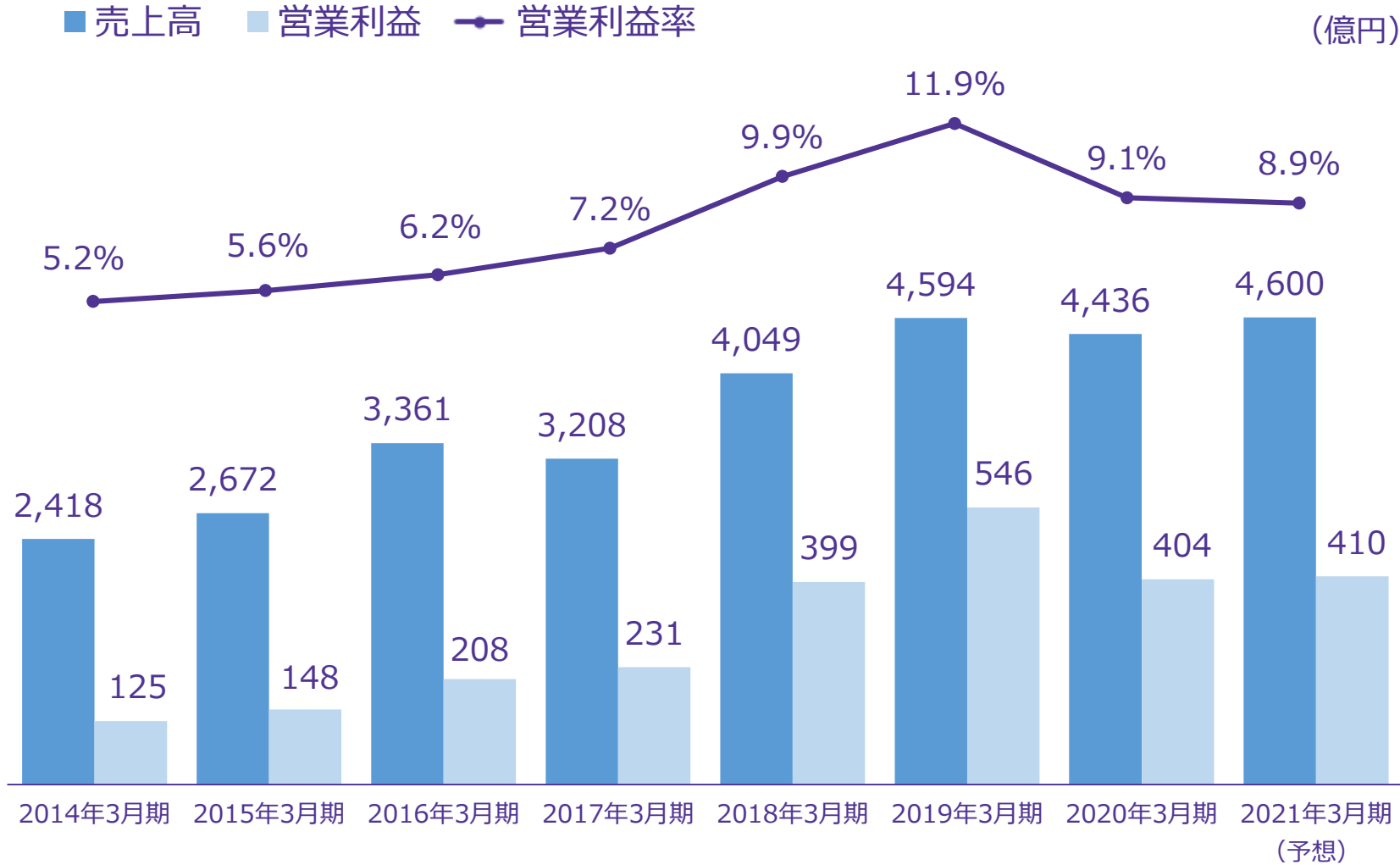
株式会社ダイフク<6383>

2020年3月期

(2019年4月1日～2020年3月31日)

決算説明資料

2020年5月12日



- ✓ 売上・利益ともに、半導体・液晶業界の設備投資減少が影響
- ✓ 売上・利益への新型コロナウイルス感染症の影響は軽微

2020年3月期業績（連結）

(億円)

	2019年3月期	2020年3月期 実績	対前年 同期比
受注高	5,033.9	4,831.8	▲4.0%
売上高	4,594.8	4,436.9	▲3.4%
営業利益	546.8	404.9	▲25.9%
経常利益	558.4	409.7	▲26.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	395.6	280.6	▲29.1%
包括利益	408.0	256.2	▲37.2%
1株当たり当期純利益	314.54円	222.96円	
為替レート（1US\$当たり）	110.37円	109.25円	

✓ 半導体・液晶業界の設備投資減少の影響を受けた一方、一般製造業・流通業向けシステムは堅調に推移。自動車生産ライン向けでは過去最大の大型案件を受注

✓ 高水準の受注残をベースに推移

✓ 純利益はダイフクの減益等が影響

(億円)

	受注高 (外部顧客からの受注高)		売上高 (外部顧客への売上高)		セグメント利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	
	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2019年3月期	2020年3月期
ダイフク	2,314.8	2,183.6	2,025.2	2,044.4	337.6	186.9
コンテック	163.9	168.3	163.9	163.5	16.1	16.0
DNAHC _{※1}	1,094.5	1,367.5	971.8	1,022.5	4.3	62.9
CFI _{※2}	417.8	238.0	342.1	326.8	25.4	25.8
その他	1,051.2	874.3	1,108.9	939.8	57.4	25.2
連結調整等	▲8.3	-	▲17.2	▲60.2	▲45.3	▲36.4
合計 (調整後)	5,033.9	4,831.8	4,594.8	4,436.9	395.6	280.6

✓ ダイフク：前年同期は関係会社株式の売却益を計上。今期は関係会社株式の評価損を計上

✓ DNAHC：自動車生産ライン向けの大型案件受注が寄与。前期計上のWebb社の特別損失がなくなったことによる増益

✓ CFI：メモリー半導体需要の回復遅れにより受注が減少

※1 DNAHC = Daifuku North America Holding Company

※2 CFI = Clean Factomation, Inc.

(億円)

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減額
流動資産	3,262.3	3,196.8	▲65.5
現金及び預金	909.1	709.0	▲200.0
売上債権	1,918.6	2,027.1	+108.4
たな卸資産	342.0	333.4	▲8.6
その他	92.4	127.1	+34.7
固定資産	837.4	912.0	+74.6
有形固定資産	370.2	473.4	+103.2
無形固定資産	124.6	101.3	▲23.2
のれん	75.6	48.9	▲26.7
その他	48.9	52.4	+3.4
投資その他の資産	342.6	337.2	▲5.3
資産合計	4,099.8	4,108.8	+9.0

	2019年 3月期	2020年 3月期	増減額
流動負債	1,559.6	1,386.9	▲172.6
仕入債務	717.9	690.9	▲27.0
短期借入金	194.3	117.7	▲76.5
その他	647.3	578.2	▲69.0
固定負債	311.3	348.3	+37.0
長期借入金	205.6	216.4	+10.7
その他	105.6	131.9	+26.2
負債合計	1,870.9	1,735.3	▲135.6
株主資本	2,146.5	2,317.1	+170.5
資本金	318.6	318.6	-
利益剰余金	1,627.2	1,792.9	+165.6
その他	200.6	205.5	+4.8
その他の包括利益 累計額	40.3	12.4	▲27.8
非支配株主持分	41.9	43.9	+1.9
純資産合計	2,228.8	2,373.5	+144.7
負債純資産合計	4,099.8	4,108.8	+9.0

✓ 資産：9億円増加

(主な要因)

売上債権が108億円、その他の流動資産が34億円、有形固定資産が103億円増加した一方、現金及び預金が200億円減少

✓ 負債：135億円減少

(主な要因)

海外子会社の借入の返済により短期借入金が76億円、未払法人税等が107億円それぞれ減少

✓ 純資産：144億円増加

(主な要因)

利益剰余金が165億円増加

(億円)

	2019年3月期	2020年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	85.5	135.0	49.4
投資活動によるキャッシュ・フロー	59.3	▲147.9	▲207.2
フリー・キャッシュ・フロー	144.9	▲12.8	▲157.8
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲68.9	▲183.5	▲114.6
現金及び現金同等物に係る 換算差額	▲18.5	▲3.7	14.7
現金及び現金同等物の増減額	57.5	▲200.2	▲257.7
現金及び現金同等物の期首残高	851.5	909.0	57.5
現金及び現金同等物の期末残高	909.0	708.8	▲200.2

✓ 営業CF：135億円収入超過

(主な要因)

税金等調整前当期純利益	398億円
未成工事受入金の増加	28億円
売上債権の増加	▲120億円
法人税等の支払額	▲223億円

✓ 投資CF：147億円支出超過

(主な要因)

固定資産取得による支出	▲128億円
関係会社株式取得による支出	▲29億円

✓ 財務CF：183億円支出超過

(主な要因)

配当金支払	▲113億円
短期借入金の返済	▲50億円

(億円)

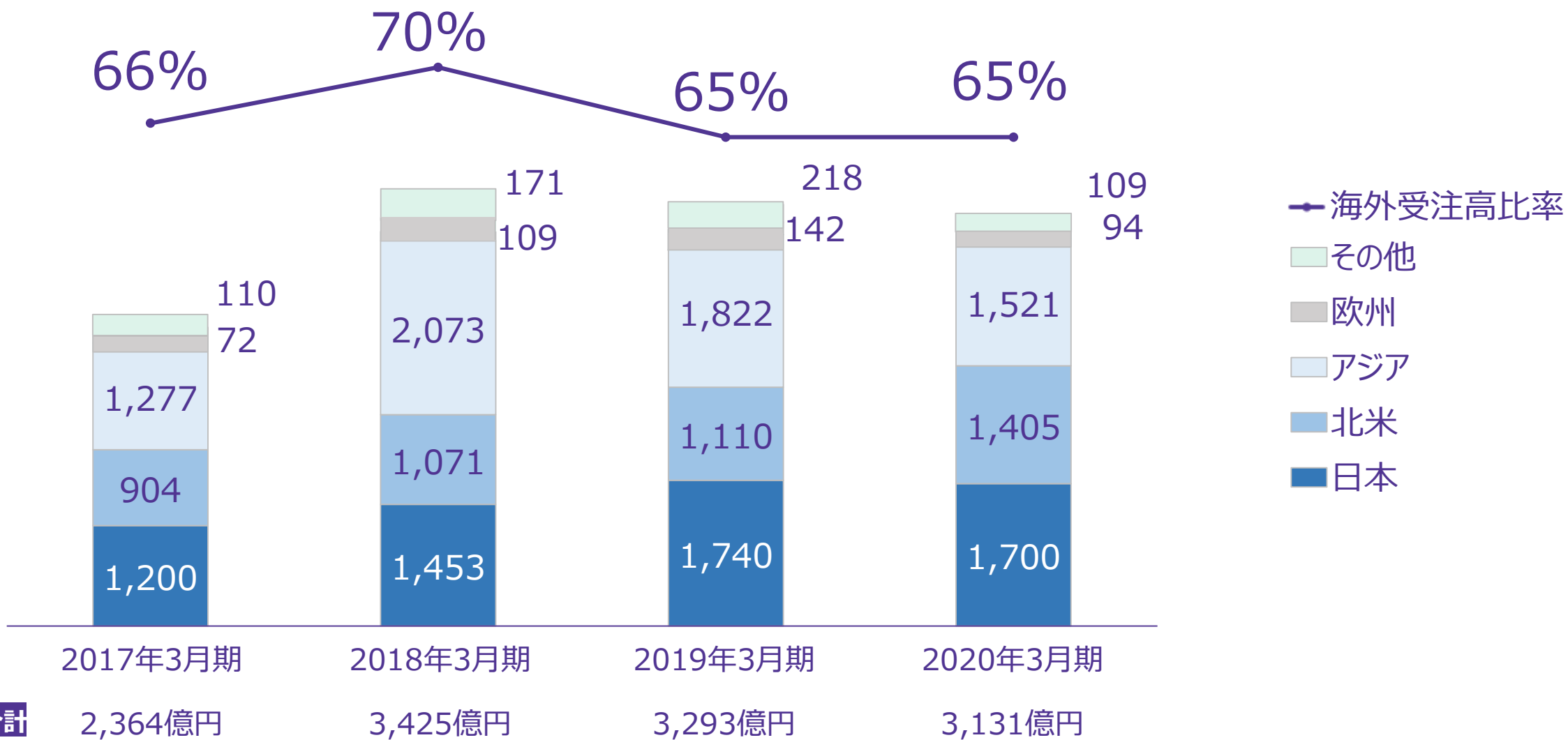
業種	受注高				売上高			
	2019年3月期		2020年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
	受注高	構成比	受注高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
自動車および自動車部品	687.5	13.7%	899.8	18.6%	686.7	14.9%	684.8	15.4%
エレクトロニクス	1,713.3	34.0%	1,462.3	30.3%	1,899.8	41.3%	1,441.6	32.5%
商業および小売業	951.1	18.9%	945.8	19.6%	717.4	15.6%	862.4	19.4%
運輸・倉庫	435.8	8.7%	172.8	3.6%	290.4	6.3%	285.5	6.4%
機械	139.0	2.8%	111.1	2.3%	93.1	2.0%	135.7	3.1%
化学・薬品	152.0	3.0%	184.6	3.8%	141.5	3.1%	153.0	3.4%
食品	126.0	2.5%	170.4	3.5%	118.7	2.6%	131.5	3.0%
鉄鋼・非鉄金属	58.5	1.2%	54.5	1.1%	45.9	1.0%	53.7	1.2%
精密機器・印刷・事務機	119.6	2.4%	76.4	1.6%	64.7	1.4%	114.8	2.6%
空港	479.1	9.5%	578.6	12.0%	355.4	7.7%	419.8	9.5%
その他	171.7	3.3%	175.0	3.6%	180.6	4.1%	153.7	3.5%
合計	5,033.9	100.0%	4,831.8	100.0%	4,594.8	100.0%	4,436.9	100.0%

✓ 受注高：北米の自動車および自動車部品の受注が好調

✓ 受注高・売上高：エレクトロニクスが減少

✓ 売上高：商業および小売業、空港向けが順調に推移

(億円)



(億円)

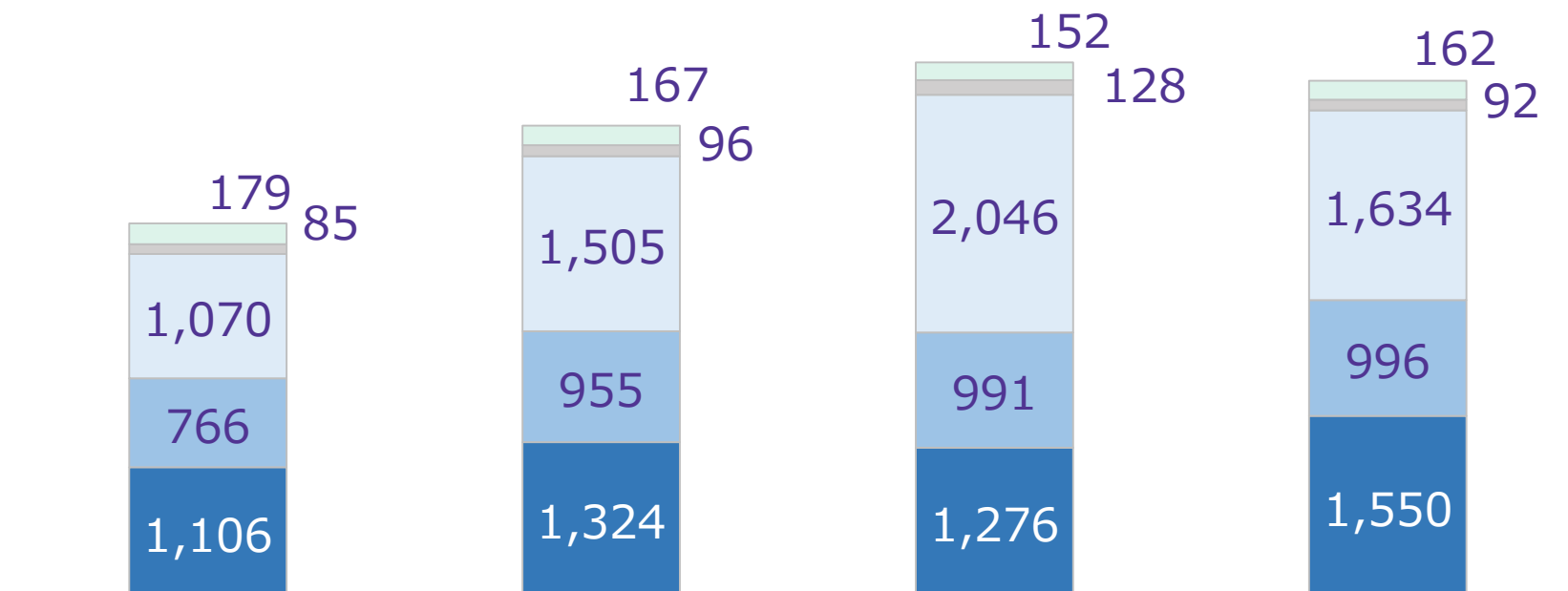
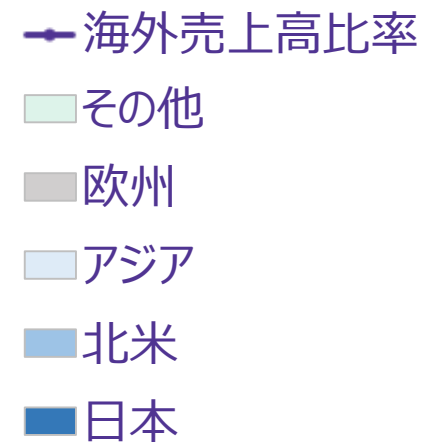
地域	国名	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
		受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比	受注高	構成比
日本		1,200.3	33.7%	1,453.7	29.8%	1,740.1	34.6%	1,700.4	35.2%
海外		2,364.8	66.3%	3,425.9	70.2%	3,293.8	65.4%	3,131.4	64.8%
	北米	904.6	25.5%	1,071.7	22.0%	1,110.4	22.0%	1,405.4	29.1%
	アジア	1,277.7	35.8%	2,073.3	42.5%	1,822.0	36.2%	1,521.7	31.5%
	中国	553.6	15.5%	1,159.1	23.8%	889.6	17.7%	583.6	12.1%
	韓国	350.3	9.8%	648.5	13.3%	501.6	10.0%	392.4	8.1%
	台湾	251.0	7.0%	126.6	2.6%	276.2	5.5%	424.9	8.8%
	その他	122.6	3.5%	138.9	2.8%	154.5	3.0%	120.6	2.5%
	欧州	72.3	2.0%	109.6	2.2%	142.6	2.8%	94.8	2.0%
	中南米	26.5	0.7%	79.9	1.6%	94.2	1.9%	9.6	0.2%
	その他	83.6	2.3%	91.2	1.9%	124.4	2.5%	99.8	2.0%
合計		3,565.1	100.0%	4,879.7	100.0%	5,033.9	100.0%	4,831.8	100.0%

✓ 北米は、自動車生産ライン向けで過去最大の大型案件を受注

✓ 中国・韓国は、主にエレクトロニクス向けが減少

✓ 台湾は、エレクトロニクス向けが好調

(億円)



2017年3月期

2018年3月期

2019年3月期

2020年3月期

海外合計

2,101億円

2,724億円

3,318億円

2,886億円

(億円)

地域	国名	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		2020年3月期	
		売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比	売上高	構成比
日本		1,106.7	34.5%	1,324.6	32.7%	1,276.0	27.8%	1,550.2	34.9%
海外		2,101.4	65.5%	2,724.5	67.3%	3,318.8	72.2%	2,886.6	65.1%
	北米	766.2	23.9%	955.0	23.6%	991.1	21.6%	996.9	22.5%
	アジア	1,070.0	33.3%	1,505.3	37.2%	2,046.2	44.5%	1,634.5	36.8%
	中国	368.6	11.5%	725.6	17.9%	1,113.3	24.2%	702.0	15.8%
	韓国	322.7	10.0%	508.4	12.6%	567.4	12.3%	435.1	9.8%
	台湾	278.4	8.7%	155.5	3.8%	211.7	4.6%	371.6	8.4%
	その他	100.2	3.1%	115.8	2.9%	153.7	3.4%	125.6	2.8%
	欧州	85.7	2.7%	96.7	2.4%	128.5	2.8%	92.8	2.1%
	中南米	40.9	1.3%	61.2	1.5%	60.6	1.3%	62.4	1.4%
	その他	138.4	4.3%	106.1	2.6%	92.2	2.0%	99.8	2.3%
合計		3,208.2	100.0%	4,049.2	100.0%	4,594.8	100.0%	4,436.9	100.0%

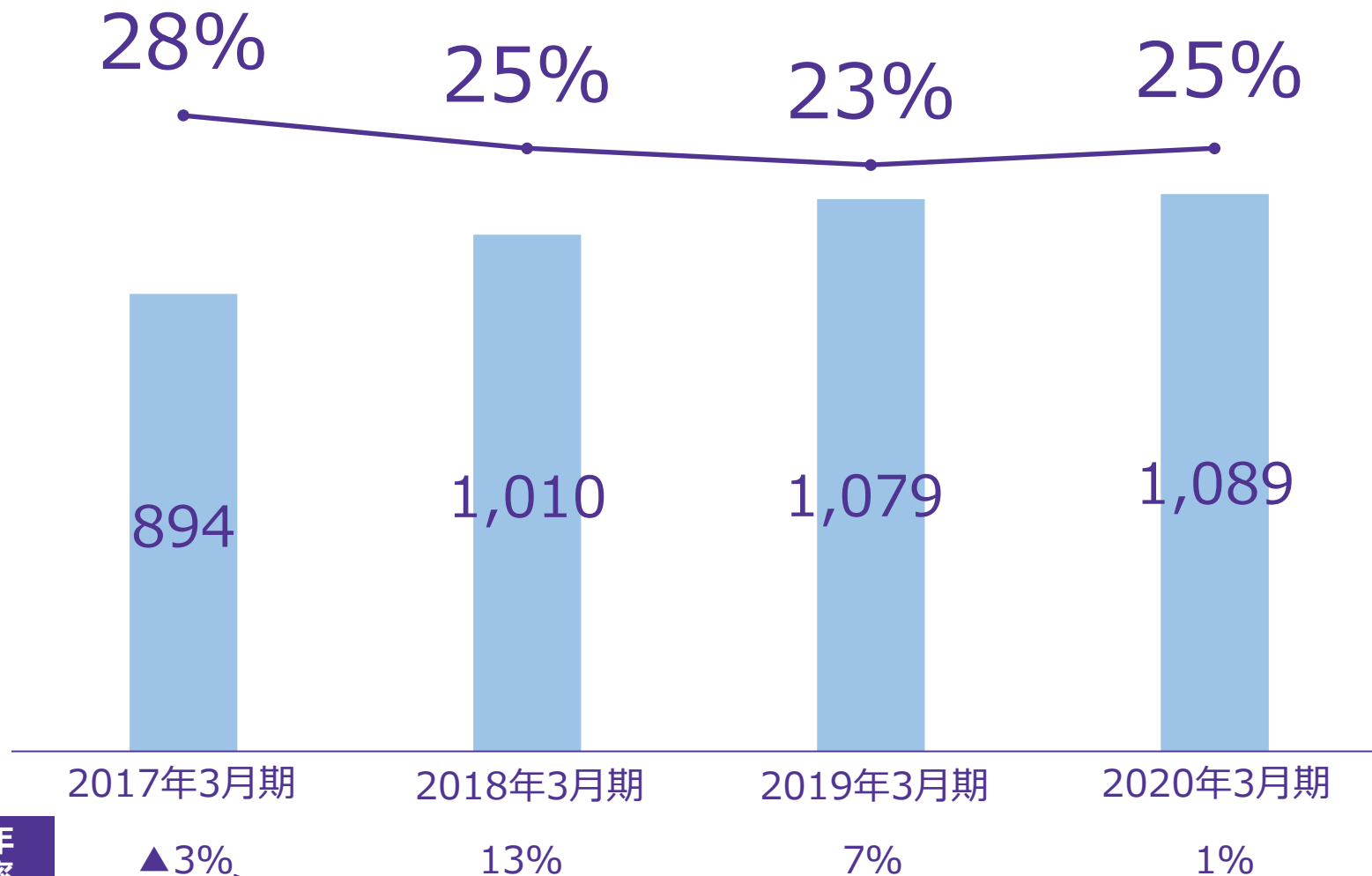
✓ 日本は、一般製造業および流通業をはじめとした豊富な受注残をベースに好調に推移

✓ 中国・韓国は、主にエレクトロニクス向けが減少

✓ 台湾は、エレクトロニクス向けが好調

(億円)

(対売上高比率)



✓ サービス売上高は堅調に推移

対前年
成長率

▲3%

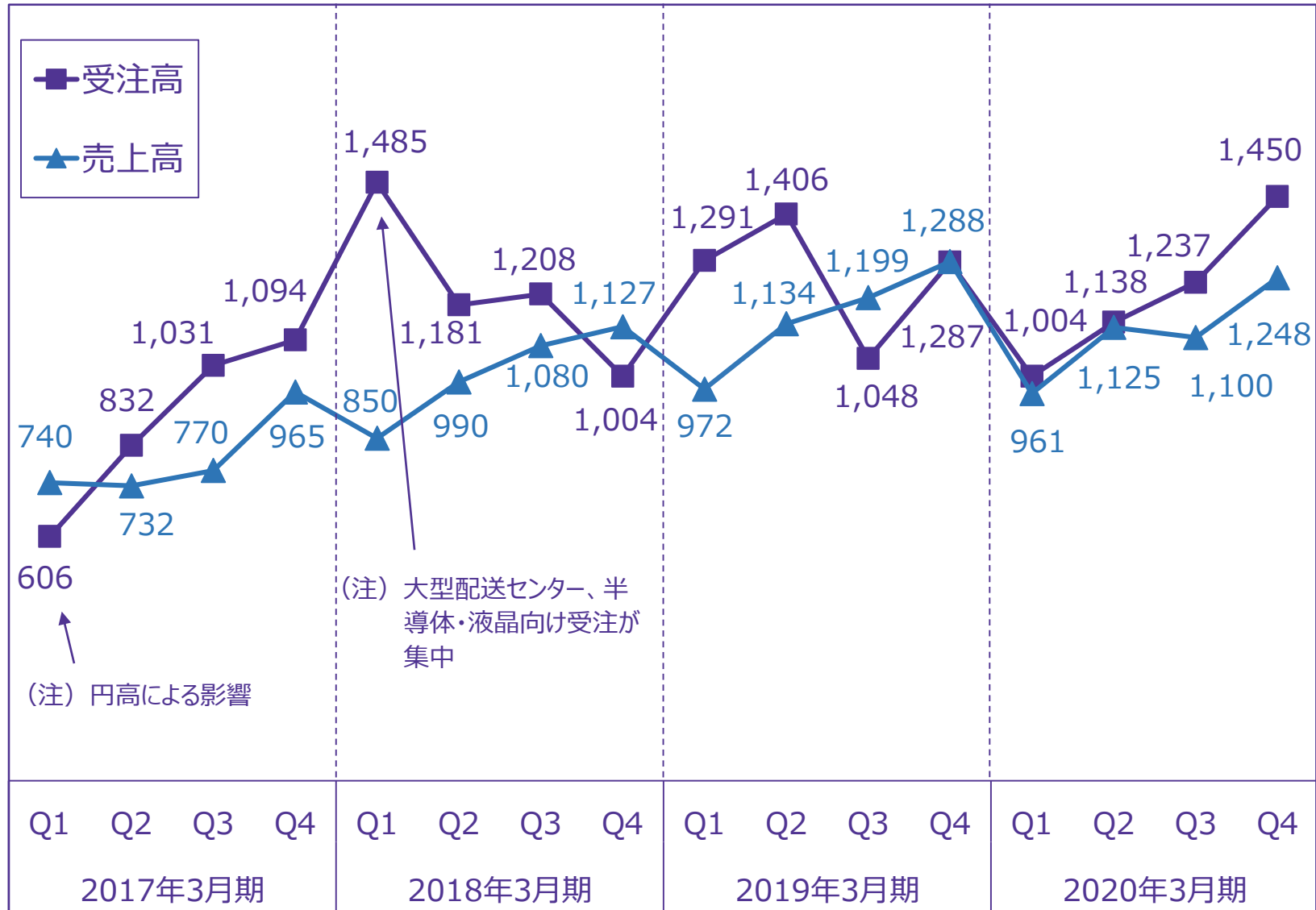
円高の影響

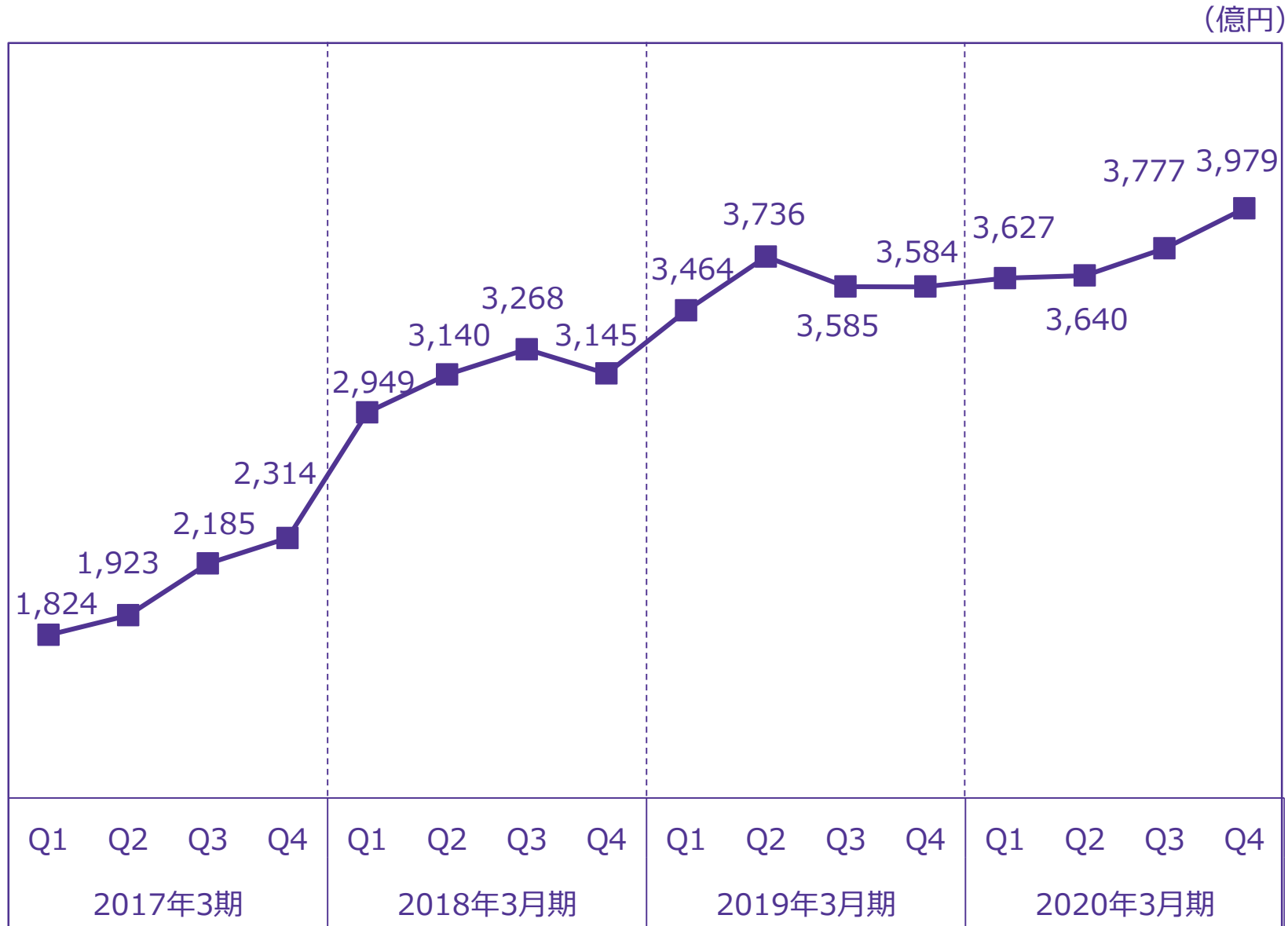
※サービス売上高

納入したシステム・製品を対象にした、保守・メンテナンス、リニューアル、改造工事などによる売上高

受注高、売上高の四半期ごとの推移

(億円)





✓ 過去最高の受注残を更新

2021年3月期業績予想 (連結)

(億円)

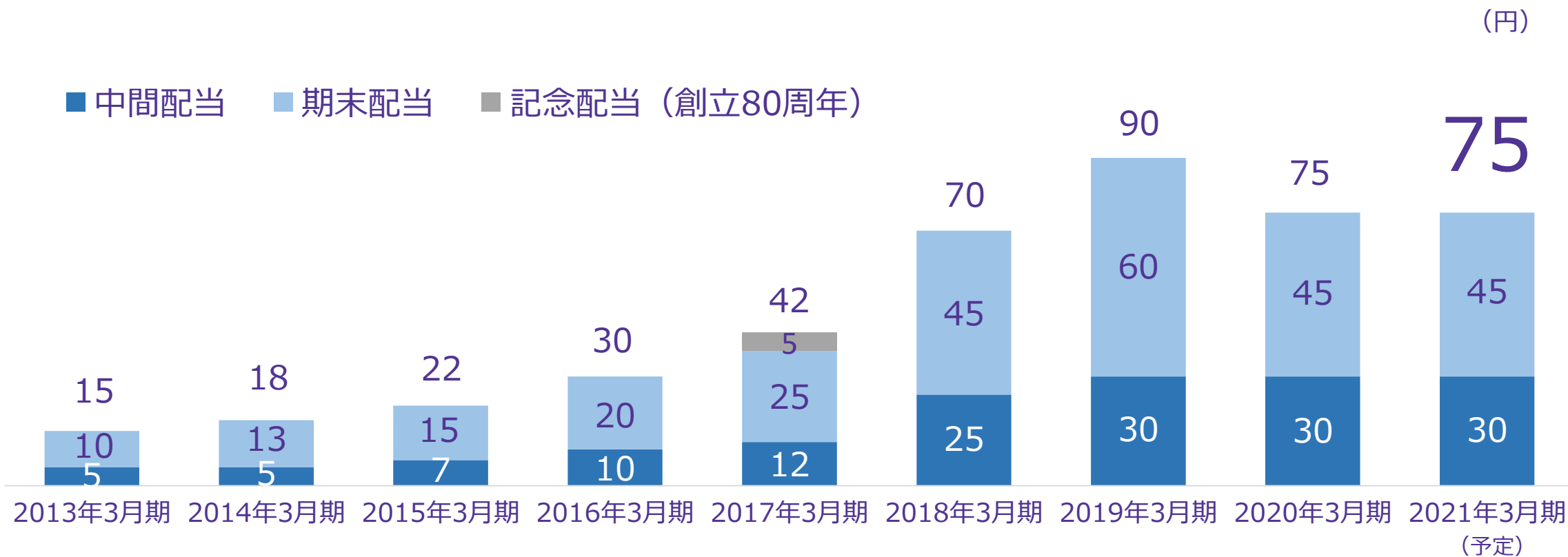
	2020年 3月期上期	2021年 3月期上期	対前年 同期比	2020年 3月期通期	2021年 3月期通期	対前年 同期比
受注高	2,143.2	2,400	+12.0%	4,831.8	4,800	▲0.7%
売上高	2,087.3	2,120	+1.6%	4,436.9	4,600	+3.7%
営業利益	172.8	163	▲5.7%	404.9	410	+1.2%
経常利益	176.1	169	▲4.1%	409.7	418	+2.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益	131.6	116	▲11.9%	280.6	290	+3.3%
1株当たり 当期純利益	104.65円	92.16円	-	222.96円	230.40円	-

✓ 増収増益を計画

- 在宅増加によるeコマース拡大、効率的な物流オペレーション要望、テレワークの普及や5G通信による半導体需要が増加見込み
- 主力生産拠点の滋賀事業所：本感染症の影響はほとんど受けていない
- 海外子会社の工場や営業所、サービス拠点：各国政府・行政機関の方針に従い操業
- 財務体質：自己資本比率56.7%、D/Eレシオ0.14倍と強固
- テレワーク：グローバルなICTインフラによりスムーズに導入
- リスク：当社グループおよびお客さま企業における事業活動の遅延・停滞、景気後退に伴うお客さま設備投資の延期・中止、減産による損益分岐点上昇など

当期は年間75円、次期も75円を予定

「連結配当性向30%」を目指す方針に基づき、当期は年間配当を75円としました。次期2021年3月期も年間75円を予定しています。



有利子負債、固定費、従業員の状況（連結）

（億円）

		2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
	短期	216	199	194	117
	長期	181	180	205	216
有利子負債合計		397	379	400	334
D/Eレシオ※		0.29倍	0.20倍	0.18倍	0.14倍
固定費		934	1,077	1,193	1,276
	人件費	649	730	768	802
期末従業員数		8,689人	9,193人	9,857人	10,863人
	海外現地法人	5,536人	5,936人	6,459人	7,312人

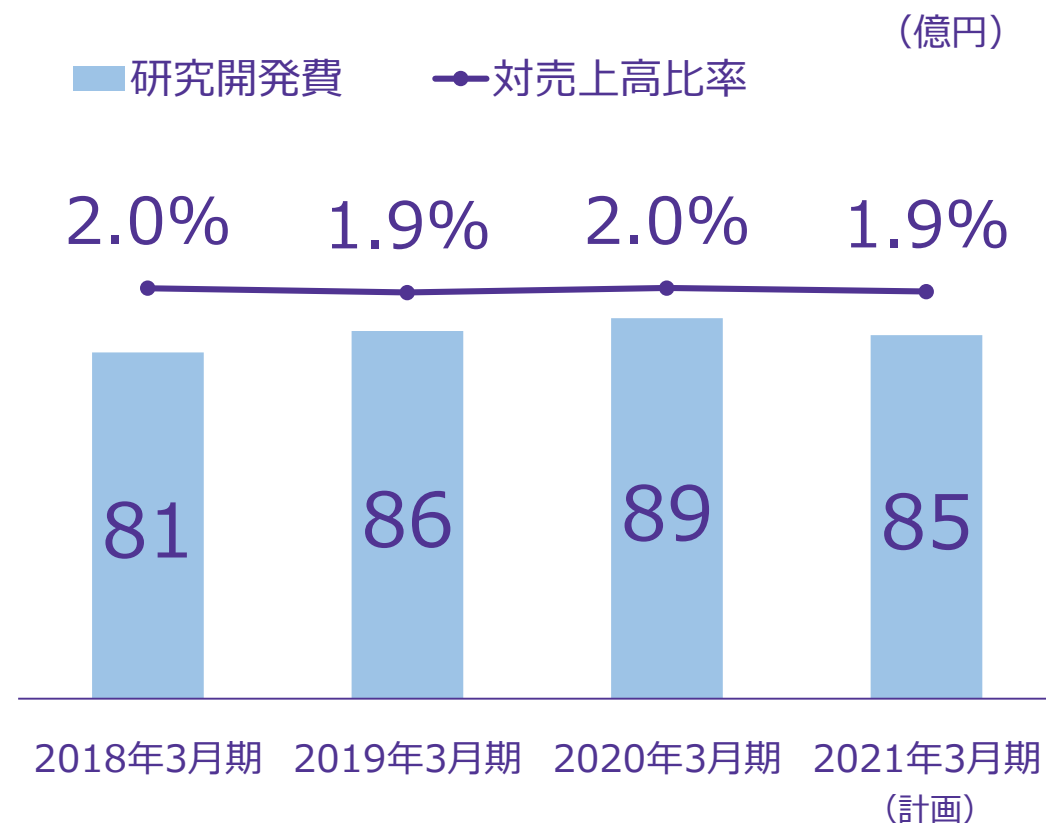
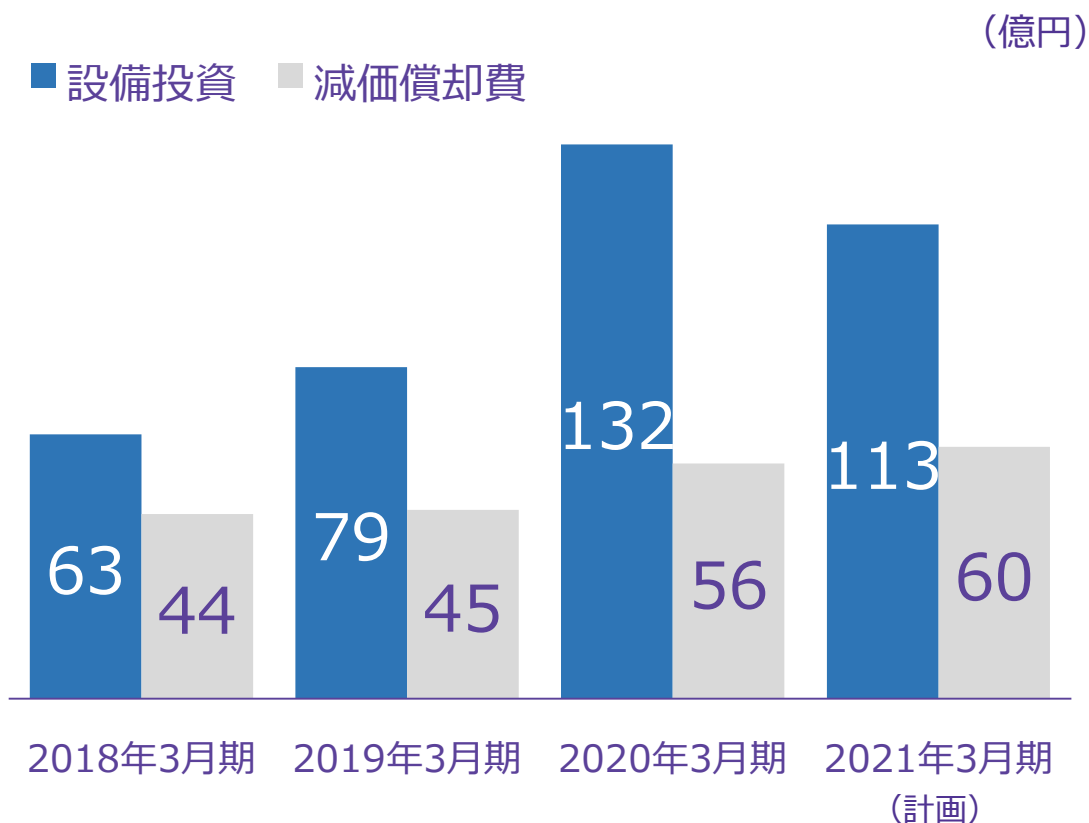
✓ D/Eレシオは0.14倍と強固な財務体質を維持

✓ 従業員数は前期末から1,006人増加。うち海外で853人増加

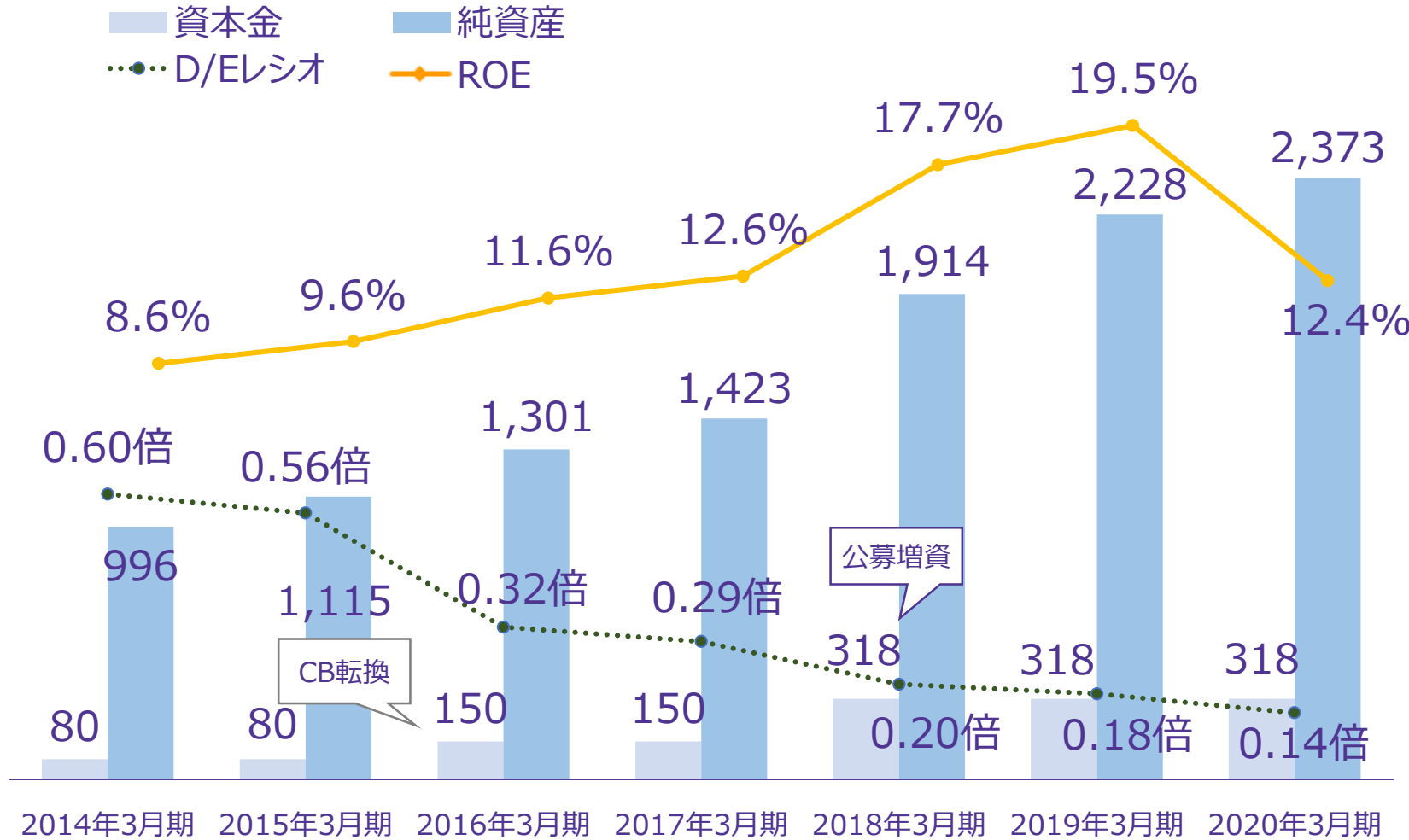
※ D/Eレシオ = 有利子負債 ÷ 自己資本（期末）

✓ 当期は、本社移転・北米新工場などに投資

✓ 減価償却費はおおむね同水準で推移



(億円)



- ✓ 純資産：順調な伸び
- ✓ D/Eレシオ：0.2倍を切る好水準
- ✓ ROE：現中計目標の10%以上を維持

中期経営
計画

Value Innovation 2017

Value Innovation 2020

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
ROE※	12.6%	17.7%	19.5%	12.4%
①売上高当期純利益率	5.22%	7.16%	8.61%	6.32%
②総資産回転率	1.07回	1.20回	1.17回	1.08回
③財務レバレッジ	2.18倍	1.99倍	1.87倍	1.76倍

✓ 売上高当期純利益率が低下したことにより、前年を下回る

※ ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本（期首・期末平均） × 100

$$= \text{①売上高当期純利益率} \times \text{②総資産回転率} \times \text{③財務レバレッジ} = \frac{\text{当期純利益}}{\text{売上高}} \times \frac{\text{売上高}}{\text{総資産}} \times \frac{\text{総資産}}{\text{自己資本}}$$

DAIFUKU

Always an Edge Ahead

将来の見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来の業績に関する目標、信念、計画等は、過去の事実ではなく、最新の情報から判断した経営陣の想定や信念に基づく事業見通しであり、潜在的なリスクや不確定要素を含んでいます。実際の業績は、さまざまな重要要素により、記載された見通しと大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要要素としては、1) 当社グループの経営環境における消費者動向および経済情勢、2) 米ドルその他の通貨建ての売上・資産・負債に対する円為替レートの影響、3) コスト上昇や販売の抑制につながる安全その他に関する法令等の規制強化、4) 災害・戦争・テロ・ストライキ・疾病等の影響などが含まれます。なお、当社グループの業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。